

# 伊万里市財務4表の概要 (平成21年度)

## 新地方公会計制度

現在の地方公共団体の会計は、現金主義・単式簿記に基づいており、その年度の現金収支を把握するのに適していますが、これまで積み上げてきた資産や借入金などの負債についてのストック情報、行政サービスにかかったコスト情報などが不足しており、総合的な財務情報を把握するには向いていません。

伊万里市では、平成21年度決算から、発生主義・複式簿記の考え方を取り入れた「基準モデルの簡易作成法」に基づき財務書類を作成しました。

## 対象となる連結の範囲

新地方公会計制度においては、伊万里市全会計のほか、他の自治体との一部事務組合などの関連団体も含めた連結の財務諸表を作成することが求められています。

### 【普通会計】 一般会計

### 【単体会計】

- 国民健康保険特別会計
- 介護保険特別会計
- 立花台地開発事業特別会計
- 公共下水道事業特別会計
- 農業集落排水事業特別会計
- 市営駐車場特別会計
- 後期高齢者医療特別会計
- 水道事業特別会計
- 工業用水道事業特別会計
- 国民健康保険病院事業特別会計

### 【連結会計】

- 伊万里・有田地区医療福祉組合
- 伊万里市土地開発公社

※連結財務諸表作成のための資料が不足しているため、以下の会計は連結していません。

佐賀県市町総合事務組合、伊万里・有田地区衛生組合、佐賀県後期高齢者医療広域連合、佐賀県西部広域環境組合

## 市民一人あたり

※平成22年3月31日現在の人口、58,068人で算出しています。

### 貸借対照表

(単位:万円)

	普通会計	連結会計		普通会計	連結会計
資産	175	298	負債	47	116
			純資産	128	182

### 行政コスト計算書

(単位:万円)

	普通会計	連結会計
1. 経常費用計(総行政コスト)	34	55
2. 経常収益計	1	6
純経常費用(純行政コスト)(経常費用-経常収益)	33	49

## 貸借対照表

➢ 年度末において、市が所有している財産(資産)をどのような財源(負債・純資産)で確保してきたかを一覧にしたものです。表の左側(借方)の資産は、市が所有している財産の内訳で、行政サービスの提供能力を示しています。表の右側(貸方)の負債は、市の債務の内訳を示し、将来の世代の負担で返済していくものです。純資産は、資産を所有するために現在までの世代が負担してきた金額で、資産と負債の差額となっています。

(資産合計 = 負債合計 + 純資産合計)

(単位:百万円)

借方		貸方	
資産	普通会計	連結会計	負債・純資産合計
1. 金融資産			1. 流動負債
現金や基金等現金化することが可能な資産			①公債(短期)
①資金	650	5,695	翌年度の市債返済予定額
②金融資産(資金以外)	4,715	6,159	②その他(未払金等)
合計	5,365	11,854	合計
2. 非金融(公共)資産			2. 非流動負債
道路、橋、公園、学校、庁舎等			①公債
①事業用資産	34,899	37,228	18,975
②インフラ資産	61,484	124,103	5,587
③繰延資産	0	0	②その他(借入金、引当金等)
合計	96,383	161,331	24,562
資産合計	101,748	173,185	負債合計
			27,151
			67,412
			純資産
			支払済の正味資産
			74,597
			105,773
			負債・純資産合計
			101,748
			173,185

## 資金収支計算書

➢ 1年間の資金の増減を「経常的収支」、「資本的収支」、「財務的収支」に区分し表示したものです。

(単位:百万円)

科目	普通会計	連結会計
期首資金残高	331	6,012
1. 経常的収支(②収入-①支出)	1,071	3,367
①経常的支出	19,035	32,401
②経常的収入	20,106	35,768
2. 資本的収支(②収入-①支出)	△ 446	△ 3,803
①資本的支出	1,436	5,134
②資本的収入	990	1,331
基礎的財政収支(経常的収支+資本的収支)	625	△ 436
3. 財務的収支(②収入-①支出)	△ 306	119
①財務的支出	2,534	5,465
②財務的収入	2,228	5,584
当期資金収支額(1+2+3)	319	△ 317
期末資金残高(期首資金残高+当期資金収支額)	650	5,695

## 純資産変動計算書

➢ 純資産(これまでの世代が負担して蓄積された資産)が平成21年度中にどのように増減したかを財源の変動、資産形成充当財源変動、その他純資産の変動に区分し表示したものです。

(単位:百万円)

科目	普通会計	連結会計
前期末残高	76,675	106,917
1. 財源変動の部(ローイ)	574	△ 796
イ. 財源の用途	23,140	37,429
①純経常費用(純行政コスト)	19,306	28,331
②固定資産形成	926	4,647
③その他	2,908	4,451
ロ. 財源の調達	23,714	36,633
①税収・社会保険料	7,924	7,924
②補助金等の移転収入	11,368	19,902
③その他	4,422	8,807
2. 資産形成充当財源変動の部(イ+ロ+ハ)	△ 2,653	△ 348
イ. 固定資産の変動	△ 2,184	163
ロ. 長期金融資産の変動	△ 468	△ 510
ハ. 評価・換算差額等の変動	△ 1	△ 1
3. その他の純資産変動の部	1	0
当期変動額合計(財源変動+資産形成充当財源変動+その他純資産変動)	△ 2,078	△ 1,144
当期末残高(前期末残高+当期変動額合計)	74,597	105,773

## 行政コスト計算書

➢ 1年間の行政運営コストのうち、福祉サービスなどの提供といった資産形成に結びつかない行政サービスに要したコストを人件費、物件費、業務関連費用、移転支出に区分して表示したものです。

(単位:百万円)

科目	普通会計	連結会計
1. 経常費用計(総行政コスト)	19,927	32,075
①人件費	4,847	6,136
②物件費	3,203	4,141
③業務関連費用	2,144	3,523
④移転支出	9,733	18,275
2. 経常収益計	621	3,744
①業務収益	334	3,374
②業務関連収益	287	370
純経常費用(純行政コスト)(経常費用計-経常収益計)	19,306	28,331

..... 貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計算書の財務書類の相互関係を表しています。